



ウム・ヴェルト株式会社

取組の ポイント



- 脱炭素社会を目指し、回収した食品廃棄物を堆肥・飼料にリサイクルして、自ら農業・養豚業に参入し、持続可能なSDGs活動として「食品リサイクルループ」を実現している。
- 7次産業（6次産業＋食品リサイクル）プロジェクトとして、道の駅「かぞわたらせ」では生産した野菜の販売、豚肉を食堂で提供することで、広くSDGs活動の情報を発信し、新たなビジネスチャンスにつなげている。

環境SDGs取組内容

【生物多様性】【廃棄物】【3Rの推進】

- ✓ 農業法人アグリファームを設立、リサイクル堆肥・飼料で農業・養豚を運営。リサイクル堆肥で育てた「加須市ブランドねぎ」がふるさと納税の返礼品に。
- ✓ 東京農業大学と連携し、食品ロスを生かした昆虫食の養殖研究を実施。



【社会貢献活動】

- ✓ 地域活性化に向け「道の駅かぞわたらせ」を指定管理者として運営。
- ✓ 食品リサイクルを体験できる「食のテーマパーク」の設立を目指す。



【廃棄物】【3Rの推進】

- ✓ 食品ロスを焼却処理せず、飼料・堆肥・バイオマス発電で再利用。
- ✓ 飲料容器リサイクルで発生したビニール袋を洗浄・チップ化し、CO2削減。



【省エネ】

- ✓ 食品工場の汚れた廃プラスチック類を燃料化し、エネルギーに転換。
- ✓ 効率的な廃棄物回収ルートの設定により、燃料消費を削減。



定着のための活動

- ✓ 経営トップのリーダーシップのもと、広報課を設立し、SDGs活動を推進し、社内外に情報発信している。
- ✓ 自社の事業活動をSDGsのゴールごとにマッピングし、ホームページや会社案内（冊子）で公開している。
- ✓ 「食品リサイクルループ創造」を経営理念に掲げ、様々なアイデアを新規事業につなげている。
- ✓ 全社員対象としたSDGs研修を行い、社内での啓発活動を実施している。

■ 会社概要

- ✓ 住所：埼玉県加須市栄368番地 1
- ✓ 事業概要：廃棄物リサイクル業、農業、養豚業、道の駅運営
- ✓ 従業員数：243人
- ✓ 代表者：代表取締役 小柳明雄
- URL：<http://www.um-welt.co.jp/>